

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-84	小学校	音楽	音楽	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号			
27 教芸	音楽 104	小学生のおんがく 1		

1. 編修の基本方針

豊かな未来を音楽でつむぐ

デジタル技術の進歩や、それに伴う社会の変化によって、子どもたちが新しい音楽に出会う機会は増えています。

音楽的な見方・考え方を働かせることによって、子どもたちが生活や社会の中の音や音楽と、より豊かに出会ったり、音楽の授業を通して、より豊かな音楽体験をしたりすることができるよう、以下の3点を柱として、この教科書を編修いたしました。

① 子どもたちの心が動く。 ~主体的、協働的な学びを促す

子どもたちの「やってみたい」という意欲が自発的に生まれるように、学習の目当てやヒントとなるキャラクターの吹き出しを充実させ、子どもたちが主体的に学習を進めることができるようにしました。



② 子どもたちの思考が働く。 ~音楽科の確かな学力を育む

「歌う」「演奏する」「つくる」「聴く」という音楽科特有の学習活動を進めながら、音楽科における「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成も着実に行なうことができるように、教材や文章の示し方を工夫しました。



③ 音楽を生きていく力に。 ~生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う



身の回りにある音や音楽と、学校の授業で学習する内容とを結び付けることによって、音楽の学びを自分の人生に生かせるような人間に育ってほしい、という願いから、身の回りの事象を教材化したり、「体験型」の鑑賞学習などを取り入れたりすることで、子どもたちが実感をもちながら、それらの音や音楽のよさやおもしろさを感じ取ることができるように配慮しました。

① 子どもたちの心が動く。～主体的、協働的な学びを促す

① 子どもたちの学習意欲を引き出します。

ナビゲート役として、親しみやすいキャラクターが登場します。彼らの吹き出しがヒントになり、「この学習では、何に気付いて、何を工夫していくのか」ということを捉えやすくしているため、子どもたちの「やってみたい」という意欲が高まります。

P.54 • 55

② 魅力あふれる教材や学習活動によって、ワクワク感を引き出します。

体の動きを取り入れた学習や、子どもたちに身近なテーマを教材化した学習を取り上げ、子どもたちが音楽活動を楽しみながら、取り組むことができるよう工夫しました。

P.52 • 53

② 子どもたちの思考が働く。～音楽科の確かな学力を育む

① 学習内容見える化することによって、子どもたちの思考を刺激します。

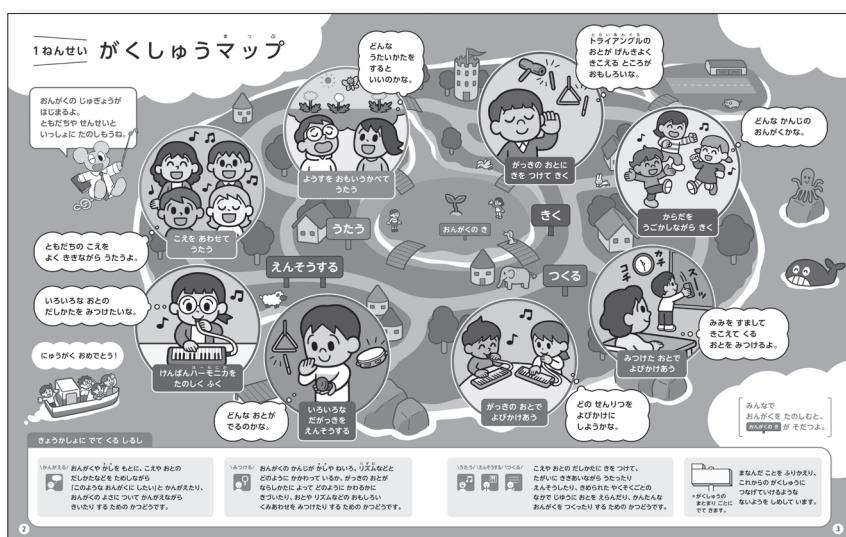
「音楽に対してもった自分の思いをどう表現するのか」「この音楽のよさはどこにあるのか」といった「思考・判断・表現」や「知識」に関わる内容を意識しながら表現や鑑賞の学習を進めることができるように配慮し、子どもたち一人一人が学習の目当てをつかみやすいよう、「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」のアイコンを示しました。

\かんがえる/ \みつける/ \うたう/ \えんそうする/ \つくる/



② 見通しをもった学びの実現

子どもたちが学習の見通しを立て、意欲をもって学習に取り組むことができるよう、各学年の冒頭に「学習マップ」のページを設けました。また、それぞれの学年で学習する音楽を形づくっている要素をまとめて確認することができる「ふり返りのページ」も掲載しています。



P.2・3

P.80・81

③ 音楽を生きていく力に。～生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う

① 身の回りの音に关心をもつ。

学校の教室の中で聞こえてくる音に耳を澄まし、オノマトペを使って声遊びをする学習を通して、身の回りの音に关心をもち、自然音や環境音などの音環境に親しむ態度を育てます。

みつけた おとで よびかけあいましょう。

おとを さがして あそぼう

みみを すまして、がっこうの なかで きこえる おとを みつけましょう。どのよう おとが きこえて きますか。

おうちの なかの おとを みつけ みていいね。

おとを こいで あらわして、よろしく いきましょう。

えんぱくで かいて いる おとを ショウジョウです。

えんぱくで かいて いる かんじが おもしろい。

ボールを けている おとが きこえました。【ばん】

そとの おとを きこえたんだね。 ばくだつだら、どんな ごえで あらわそうかな。

まわっこうする よびかけあいした おとを つかって、 えこあそび しましょう。

まわっこうする よびかけあいした おとを つかって、 えこあそび しましょう。

まわっこうしたり、 おはなしすきように よびかけあつたり して みよう。

おはなするように よびかけあいする よびかけあいする よびかけあいする よびかけあいする

4 みのまわりのいろいろな おとの おもしろさに きづく ことが できたかな。

P.32・33

② 音楽的視野や価値観を広げる。

気付いたことを伝え合ったり、つくった作品を発表し合ったりする活動を通して、対話的な学びを進め、音楽に対する考え方を広げたり深めたりすることができるよう配慮しています。また、友達の考え方に対する尊重も育みます。

えから おもいうかべた おとを / くみあわせて、おんがくを / つくりましよう。

えから うまれる おんがく

ひだりの えをみて、がっきの ならしかたを ためしながら えに あう おとを さがして、ともだちと しょうかいあいましょう。

この おとには、タンブリンの おとが いいかな。自分の がっこうも ためし みよかな。

3にんの くみになり、みつけた おとを ひだりかいつならじて、 おんがくを つくりましよう。

みつけた おとの ねい

くみあわせの ねい

3にんで おとを ひらすと おひらうね。

がっこうに のしく おとを おもしろい あたいだね。

つくった おんがくを はつひょうし、 みんなで ききあいましょう。

ともだちが どのように おとを くみあわせているのか きいてみよう。

P.56・57

特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識を高められるよう、すぐに聞くことができる最終ページに配置しました。

国歌「君が代」がどのような場面で
歌われるのかを例示しています。

「君が代」

「きみがよ」

きみがよは ちよに 一 や ら よ に
さざれいしのいわおとなりて
こけのむすままで

国歌「きみがよ」を たいせつに しよう
せかいのくには、われわれの 国歌が あります。
ほんのくには、さみがよです。
ほんのくには、ずっと なまない あいだ さかえて、
へいわが つくこと おがう うだす。

国歌は、オリンピックや
パラリンピックなどの
スポーツの たいかいでも、
よくうたわれます。このとき、
おなじにののどちのの
つがいを まわらわんます。
2022年 北京オリンピック開会式

P.82・83

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
①うたって おどって なかよくなろう	歌を通して自然や動物などに対する思いを高められる学習活動を設定しました。(第四号)	P.8・9
②はくを かんじとろう	知っている歌と一緒に歌ったり、知らない友達に教えたりする活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.8・9
③はくに のって リズムを うとう	リズムの基礎となる「拍」を感じ取る学習を段階的に繰り返し設定し、音楽活動に必要な知識や技能を身に付けられるようにしました。(第一号)	P.16～21
④みのまわりの おとに みみを すまそう	拍とリズムとの関係を確実に理解できる学習活動を設定し、音楽活動に必要な知識や技能を身に付けられるようにしました。(第一号)	P.22～31
	言葉をもとにしたリズムを繰り返したり組み合わせたりして、創造性を培う学習活動を設定しました。(第二号)	P.28・29
⑤どれみとなかよくなろう	身の回りの音を用いて、創造性豊かに音楽づくりの学習活動ができるようにしました。(第二号)	P.32・33
⑥せんりつで よびかけあおう	鍵盤ハーモニカや歌唱の学習活動を通して、ドレミの音高の違いや鍵盤の位置を確実に習得できるようにしました。特にドレミの風船のイラストによって、一層理解が進むよう工夫しました。(第一号)	P.34～45
⑦がっきとなかよくなろう	友達と呼びかけ合う「まねっこあそび」を通して、個人の価値を尊重し、創造性を培えるようにしました。(第二号)	P.47
	「せんりつの よびかけっこ」の音楽づくりの学習活動を通して、個人の価値を尊重し、創造性を培えるようにしました。(第二号)	P.48・49
⑧ようすをおもいうかべよう	打楽器に関する知識や技能を身に付けられるようにしました。(第一号)	P.52・53
	友達と協働して音楽をつくる学習活動を通して、創造性を培えるようにしました。(第二号)	P.56・57
⑨にほんの うたを たのしもう	星空の美しさを思い浮かべながら歌うことを通して、自然を大切にする態度を養えるようにしました。(第四号)	P.60・61
	自然や動物の様子を思い浮かべながら歌うことを通して、生命を尊び、自然を大切にする態度を養えるようにしました。(第四号)	P.64・65
⑩みんなであわせて たのしもう	我が国のわらべうたを聴いたり歌ったりすることや遊びを通して、我が国の文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.66～69
うたいつごう にほんの うた	互いの声や楽器の音を聞き合いながら、協力して歌ったり合奏したりすることを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.70～75
国歌「きみがよ」	我が国で長く歌い継がれている、季節の行事にまつわる歌を歌うことを通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.78・79
	国歌「君が代」がどのような場面で歌われるのかを知ることを通して、国歌「君が代」を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.82・83

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-84	小学校	音楽	音楽	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号			
27 教芸	音楽 104	小学生のおんがく 1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 主体的な学びや協働的な学びの充実

●体の動きを伴った活動を通して、楽しみながら音楽を感じ取り、その活動を友達と共有することによって、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしました。

- ① 音楽に合わせて体を動かす例を
イラストで示し、図と図の違いを
感じ取りやすくしています。

P.50・51

P.72・73

- ③ 教材と関連させながら、スマーロス
テップの活動を積み重ねることで、
音楽の力を育てる、「そだてよう」の
コーナーを設けました。子どもたちは
ゲーム的な感覚で楽しみながら
取り組むことができます。

P.15

② 子どもたちの音楽的な見方・考え方より働く構成

●子どもたち一人一人が感じ取った音楽のよさについて、自分の言葉で語ったり表現したりすることができるようになってほしいという思いで構成しました。

活動文は、「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」の、それぞれの内容を関連させながら、学びを広げたり深めたりすることができるようにしました。

題材名

【題材の最初のページ】

6 せんりつで よびかけあおう

学習目標

【題材の最後のページ】

P.46・47

P.50・51

活動文

やまびこごっこ

108~116

おうちやすゆき作詞／若月明人作曲

1・2 やまびこさん やまびこさん まねっこさん
やっほー やっほー やっほー
まねするな まねするな

まねっこあそび

1 ふたりのくみになつて、いろいろなことばをやまびこのようにまねてあそぼう。

2 リーダーのよびかけをみんなでまねてあそぼう。

リーダーをこうたいしながらあそぼう。ふたりのくみでまねっこあそびをはづひょうしてもいいね。

SAMPLE

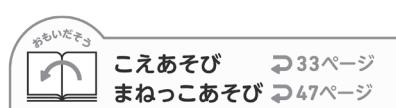
せんりつで よびかけあおう おもしろさをみつけたね。ほかにもよびかけあうおんぐがあるかな。

題材のねらい

この題材で何を学ぶのか、
どのような学習をするのかを示しました。

学習のまとめ

この題材で何を学んだのかを振り返り、
これからの学習につなげるための内容を示しました。



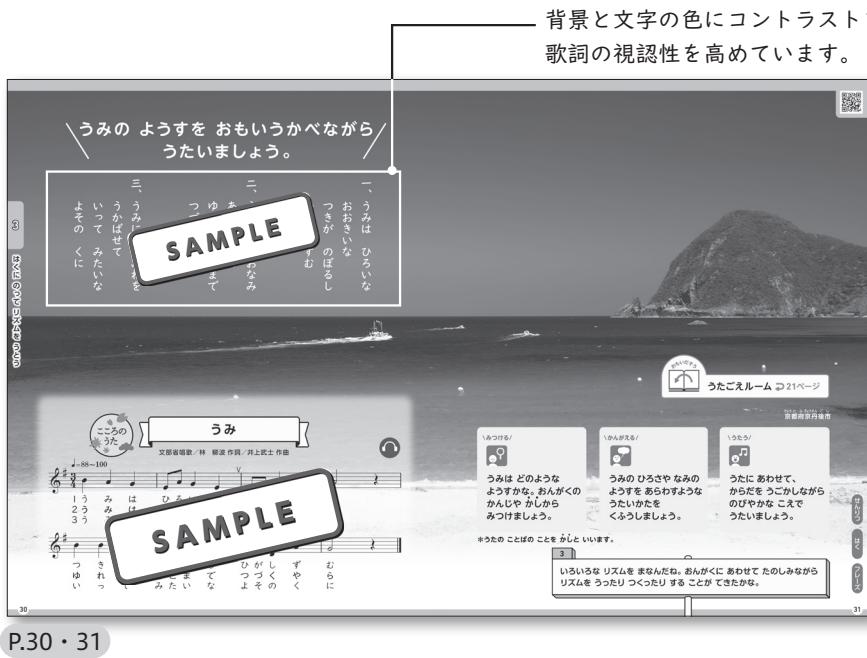
P.48

「おもいだそう」コーナーの設置

以前学習したこともう一度確かめ、
その内容を、新たな学習で生かせるようにしました。

③ 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点

- 楽譜や縦書き歌詞、活動文については、無地や単色の部分に配置するなど、読みやすさを確保しています。さらに、写真やイラストの上の文字については、デザイン性を考慮しつつ、文字の見やすさにも配慮しました。



P.30 • 31

④ 我が国の文化を大切にする心情を育てる教材

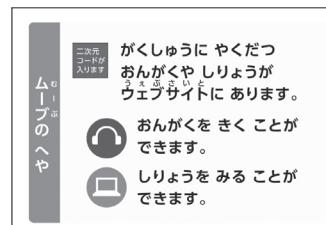
- 日本の伝統的な行事に関する歌を取り上げました。



P.78 • 79

5 ICT 機器の活用への対応

- 全ての歌唱・器楽教材で、MIDIによる音源を聴くことができます。また、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするコンテンツも準備しました。



P.4

6 教科書の特色

基本事項	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①主体的・協働的な学びを促す。 ②音楽科の確かな学力を育む。 ③生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う。
	学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容を網羅しました。
内容	系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、6年間を見通した学習プログラムである「題材」を各学年に設定し、題材のねらいに即した教材を配列して系統的な学びを実現できる内容としました。
	配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●学習をスムーズに進められるよう題材及び教材を配列し、学習内容の分量も適切になるよう配慮しました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●目次とは別に、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習内容について、1年間の学びを俯瞰できるページを設けました。(P.2・3)
	歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の声域や心身の発達段階を考慮して、音域や難易度、歌詞の内容を吟味しました。
	器楽教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、段階を踏みながら確実に演奏技能を習得できるようにしました。
	音楽づくり教材	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで児童の考え方や工夫の視点を例示することによって、児童の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	教材のユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階に応じて、多くの児童が無理なく取り組める音域や難易度の中で教材を選択・開発しました。
	鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階と題材のねらいに即した教材を選択し、学習を進めるうえで有益な写真や絵譜、譜例なども示しました。
	主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しました。
	伝統と文化の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●わらべうたを取り扱う題材を配置し、それらに親しみながら学習を進められるようにしました。(P.66～69)
その他	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●外国の遊び歌なども取り上げ、音楽を通して国際理解ができるように配慮しました。(P.10・11)
	(共通事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●教材を指導する際の目安となる、[共通事項]に示された音楽を形づくっている要素をページ端に表示し、「ふりかえりのページ」でも一覧できるようにしました。
	ICT 機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面上の二次元コードから URL を読み取ることによって、学習に役立つ歌唱・器楽教材の MIDI 音源や、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするコンテンツを活用できるようにしました。
特別支援教育への配慮		<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家から助言を得て、楽譜や文字の配置や見せ方を工夫し、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。
		<ul style="list-style-type: none"> ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けがつきにくい児童の色覚特性にも配慮した配色を採用しました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
文字・印刷・製本・用紙		<ul style="list-style-type: none"> ●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないよう配慮しました。
		<ul style="list-style-type: none"> ●印刷は鮮明で、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ●製本はページどうしを接着した丈夫で長持ちする様式にしました。針金を使わないため、安全性にも優れています。 ●用紙は、児童の持ち運びを考慮し、軽量化した再生紙を使用しています。

2. 対照表

図書の構成			学習指導要領の内容											
ページ	教材名 ◎…鑑賞教材／(共)…共通教材	歌唱			器楽			音楽づくり			鑑賞		(共通事項)	
		ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ
6	◎どみそらんど												○	○
8	うたって なかよくなろう				○									○
10	◎セブン ステップス											○	○	○
12	(共) ひらいた ひらいた	○			○									○
16	◎さんぽ											○	○	○
18	じゃんけんぽん	○				○	○	○	○	○				○
20	みんなで あそぼう	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
22	◎しろくまの ジェンカ					○						○	○	○
24	(共) かたつむり	○	○	○	○	○								○
26	ぶん ぶん ぶん	○			○	○	○	○	○	○				○
28	ことばで リズム										○	○	○	○
30	(共) うみ	○	○	○	○									○
32	おとを さがして あそぼう										○	○	○	○
37	たのしく ふこう					○								○
38	どんぐりさん の おうち	○				○	○	○						○
41	◎みつばちハニーの ぼうけん											○		○
42	なかよし	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
44	(共) ひのまる	○	○	○										○
46	やまびこ ごっこ	○	○	○	○									○
48	せんりつの よびかけっこ								○	○	○			○
50	◎こうしんきょく											○	○	○
52	おとさがし					○	○	○						○
54	さがして みよう ならして みよう				○	○	○							○
56	えから うまれる おんがく								○	○	○			○
58	◎シンコペーテッド クロック											○	○	○
60	きらきらぼし	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
62	◎にんぎょうの ゆめと めざめ											○	○	○
64	はる なつ あき ふゆ	○	○	○	○									○
66	◎さんちゃんが／◎おおなみ こなみ											○	○	○
68	おちゃらか ほい	○	○			○								○
70	あいあい	○	○	○	○									○
72	とんくるりん ぱんくるりん	○		○	○	○	○	○						○
74	こいぬの マーチ	○	○		○	○	○	○	○					○
76	◎クシコスポット											○	○	○
78	うたいつごう にほんの うた	○	○	○	○	○								○
82	国歌「きみがよ」	○	○	○	○	○								○